



ナイチンゲール伝

図説 看護覚え書とともに

著：茨木保／医学書院

定価：本体 1,800 円 + 税 / TEL：03-3817-5657

■本誌連載マンガ「ナイチンゲール伝」の単行本化。図説『看護覚え書』を描き下ろし、その1節1節を丁寧に解説した。短いながら圧巻なのは、「ナイチンゲール誓詞」と、論文「病人の看護と健康を守る看護」を伝える『ナイチンゲールの夢——1893年』。「ナイチンゲールの夢ははまだ実現されていない。彼女のバトンを引き継ぎ、未来に伝えていくのは、現代を生きる我々の仕事なのである」と結ぶ。

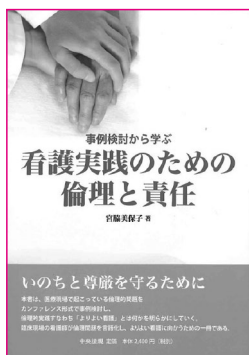
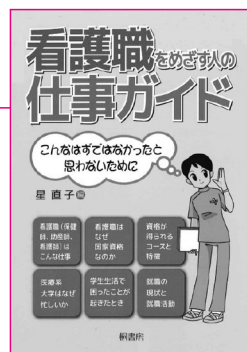
看護職をめざす人の仕事ガイド

こんなはずではなかったと思わないために

編：星直子／桐書房

定価：本体 1,200 円 + 税 / TEL：03-5940-0682

■何となくあこがれて看護学校に入った人、一方強い意志をもって看護学生になった人、学生の志望動機はさまざまであり、その進路もまた多様である。本書は、学生たちが、いざ現場に出ようというときに「こんなはずではなかった!」と思わないための「仕事ガイド」。看護職とはどんな仕事を改めて紐解き、専門看護師・認定看護師のコースや特徴を解説。学校生活での困りごとから進路選択まで、広範にカバーする。



事例検討から学ぶ

看護実践のための倫理と責任

著：宮脇美保子／中央法規

定価：本体 2,400 円 + 税 / TEL：03-3379-3861

■「看護実践と倫理は別ものではない。看護そのものの中に倫理は内在しているのである」(「まえがき」より)とする視点から、看護実践の場における倫理観の言語化を試み、第3章に「看護師が直面する倫理的悩み」の事例を挙げ、倫理的考察を加え、解説。「時代が変わろうとも看護師として譲ることのできないものとは何か」(同)と問いかけつつ、実践における倫理の在り方を提示する。

生命倫理の教科書

何が問題なのか

編著：黒崎剛・野村俊明／ミネルヴァ書房

定価：本体 2,800 円 + 税 / TEL：075-581-5191

■「『人間の自由』はどこまで拡大できるか」(本書帯より)。人間の自由とは、際限のない欲望をも包含するのか。医療現場において「何が問題なのか」、安楽死、人工妊娠中絶、脳死、遺伝子操作などの現状を見つめ、問題を提起する。自己決定権は、どこまで広がり、どこに限界をもつのか。生命を「救う」とことと「操作する」ことの狭間で問われる科学者の理性とは。医療職を志す人の必読書。

